

- ネジ頭を5mmほど残して、タッピングスクリューを壁(または、プラスチックアンカー)にねじ込みます。
- 壁から突き出ているネジ頭を本体底面の取り付け穴にさし込むようにして、本体を壁に取り付けます。ネジ頭がスロットにはまるまで本体をスライドさせ、しっかり固定させてください。

別売マグネットキットの取り付け
別売の「マグネット Kit M」を使用すると、OAデスクの横などの垂直な場所に設置することができます。

- ゴム足が貼られている場合は、ゴム足をはがします。
- 付属のマグネット Kit M取り付け用ネジを用いてマグネットを本体に固定します。
- マグネットの取り付けには、本体底面のゴム足取り付け位置(マーク)の内側にあるネジ穴を使用してください。
- マグネットは、ゴム足およびウォールマウント用タッピングスクリューと同時に使用することはできません。
- マグネット用のネジは本製品に付属のものを使用してください。

接続のしかた

ケーブル

すべてのケーブルが機器間を接続するのに適切な長さであることを確認します。

| | 種類 | 最大距離 |
|------------|------------------|------|
| 10BASE-T | UTPケーブル カテゴリ-3以上 | 100m |
| 100BASE-TX | UTPケーブル カテゴリ-5 | 100m |

起動と停止

ACアダプターのDCプラグを本体背面のDCジャックに接続し、ACプラグを電源コンセントに差し込むと起動します。ACアダプターのACプラグを電源コンセントから抜くと停止します。

本製品には電源スイッチがありません。ACアダプターを電源コンセントに接続した時点で電源が入りますのでご注意ください。

ACアダプターのACプラグを電源コンセントに差し込んだまま、DCプラグを抜かないでください。感電事故を引き起こすおそれがあります。

通信速度 / 通信モードの設定

接続先の機器の通信モードは、次の表の印の組み合わせになるように設定してください。IEEE802.3u規格のオートネゴシエーションをサポートしていない製品と本製品を接続する場合は、接続先機器の通信モードをHalf Duplexに設定してください。

| | 自ポート CentreCOM FS708EXL オートネゴシエーション |
|------------|---|
| 接続先 ポート | 10M Half 固定 |
| | 10M Full 固定 |
| | 100M Half 固定 |
| | 100M Full 固定 |
| | オートネゴシエーション |

接続手順

- 本体前面の10BASE-T/100BASE-TXポートと接続先の機器をUTPケーブルで接続します。

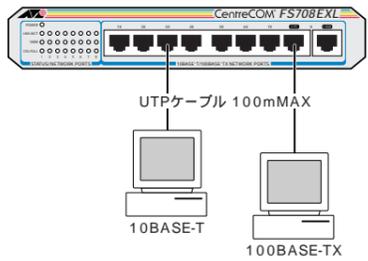


図6 スタンドアローンの接続例

- 電源ケーブルのソケット側を本体背面の電源コネクタに接続し、プラグ側を電源コンセントに差し込みます。
- 本体前面のPOWER LED(緑)が点灯したことを確認します。UTPケーブルが正しく接続され、接続先の機器の電源が入っていれば、接続したポートのLNK/ACT LED(緑)が点灯します。

カスケード接続

カスケードポートを使用すると、クロスケーブルを使用することなく、簡単にカスケード接続することができます。

また、スイッチ同士のカスケード接続では、カスケードできる数に理論上の制限がありません。そのため、用途に合わせてネットワークを拡張することができます。

カスケードの段数は、ネットワーク上で使用しているアプリケーションのタイムアウトによって制限されることがあります。

本製品のカスケードポートと他のスイッチやリピータを接続するUTPケーブルの長さは100m以内です。

- 本製品のカスケードポートにUTPケーブル(ストレートタイプ)を接続します。
- カスケードポートはポート8と共用のため、ポート8を使用している場合は使用することができます。
- UTPケーブル(ストレートタイプ)のもう一方の端を接続先の機器の通常の10BASE-T/100BASE-TXポートに接続します。

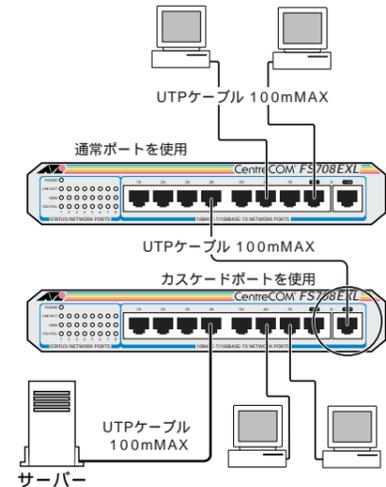


図7 カスケード接続の例

トラブルシューティング

本製品が正しく動作しない場合は、次の点を確認してください。

POWER LEDは点灯していますか？
POWER LEDが点灯していない場合は、ACアダプターのコードに断線がないか、ACアダプターが正しく接続されているか、正しい電源電圧のコンセントを使用しているかなどを確認してください。

LNK/ACT LEDは点灯していますか？
LNK/ACT LEDは接続先の機器と正しく接続されているときに点灯します。点灯しない場合は、次のことを確認してください。

接続先の機器に電源が入っているか確認してください。また、端末に取り付けられているネットワークインターフェースカードに障害がないか、ネットワークインターフェースカードに正しくケーブルが接続され、通信可能な状態にあるかなどを確認してください。

UTPケーブルが正しく接続されているか、正しいUTPケーブルを使用しているか、UTPケーブルが断線していないかなどを確認してください。また、ケーブルの長さが制限を越えていないか確認してください。本製品と端末を接続するUTPケーブル、本製品と他のスイッチやリピータを接続するUTPケーブルの長さはすべて100m以内と規定されています。

ポート8とカスケードポートを同時に使用していませんか。ポート8とカスケードポートは共用のため、両方を同時に使用することはできません。どちらか一方を選択してご使用ください。

本製品のカスケードポートを確認してください。本製品と他のスイッチやリピータをカスケード接続する場合は、本製品のカスケードポートと、接続先機器の通常の10BASE-T/100BASE-TXポートを接続してください。

特定のポートが故障している可能性もあります。ケーブルを別のポートに差し替えて、正常に動作するか確認してください。

リピータ(=ハブ)の数が増えすぎないかどうかを確認してください。ファーストイーサネット(100Mbps)の場合、クラスIIのリピータは、1つのコリジョンドメイン内で2台までをカスケード接続することができます。その場合、リピータ間のケーブルの長さは5m以内としてください。クラスIのリピータはカスケード接続することができません。イーサネット(10Mbps)の場合、カスケードできるリピータの台数は、最大4台までとされています。

製品仕様

| | |
|--------------|---------------------------|
| サポート規格 | IEEE 802.3/IEEE 802.3u |
| 転送モード | ストア&フォワード |
| 電源部 | |
| 定格入力電圧 | AC100-120V |
| 入力電圧範囲 | AC90-132V |
| 定格周波数 | 50/60Hz |
| 最大入力電流 | 1.0A |
| 平均消費電力 | 7.5W(最大8.5W) |
| 平均発熱量 | 6.5kcal/h(最大7.3kcal/h) |
| 環境条件 | |
| 保管時温度 | -20-60 |
| 保管時湿度 | 95%以下(ただし、結露なきこと) |
| 動作時温度 | 0-40 |
| 動作時湿度 | 80%以下(ただし、結露なきこと) |
| 外形寸法(突起部含まず) | 210(W) X 117(D) X 38(H)mm |
| 重量 | 690g |
| MACアドレス登録数 | 17,000個 |
| アドレス保持時間 | 240秒 |
| メモリー容量 | 1MByte |
| 適用規格 | EMI規格 VCCIクラスB |

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

保証

製品に添付されている「製品保証書」の「製品保証規定」をお読みになり、「お客様インフォメーション登録カード」に必要事項を記入して、当社「お客様インフォメーション登録係」までご返送ください。「お客様インフォメーション登録カード」が返送されていない場合、修理や障害発生時のサポートなどが受けられません。

保証の制限

本製品の使用または使用不能によって生じたいかなる損害(人の生命・身体に対する被害、事業の中断、事業情報の損失またはその他の金銭的損害を含み、またこれらに限定されない)については、弊社はその責をいっさい負わないこととします。

ユーザーサポート

障害回避などのユーザーサポートは、右の「調査依頼書」をコピーしたものに必要事項をご記入の上、下記の番号までFAXしてください。できるだけ電話による直接の問い合わせは避けてください。FAXによって詳細な情報を送付いただくほうが、電話による問い合わせよりも遥かに早く問題を解決することができます。記入内容の詳細は、「調査依頼書のご記入にあたって」をご覧ください。

アライドテレシス サポートセンター

Tel: 0120-860-772
月-金(祝・祭日を除く)9:00-12:00
13:00-18:00
土(祝・祭日を除く) 10:00-17:00
Fax: 0120-860-662
年中無休 24時間受け付け

調査依頼書のご記入にあたって

調査依頼書は、お客様のご使用環境で発生した様々な障害の原因を突き止めるためにご記入いただくものです。障害を解決するためにも以下の点にそって、十分な情報をお知らせください。記入用紙で書き切れない場合には、別途プリントアウトなどを添付してください。

ご使用のハードウェア機種について

製品名、製品のシリアル番号(S/N)、製品リビジョン(Rev)を調査依頼書に記入してください。製品のシリアル番号、製品リビジョンは、製品の底面に貼付されているシリアル番号シールに記入されています。

(例)



お問い合わせ内容について

どのような症状が発生するのか、またそれはどのような状況で発生するのかを出来る限り具体的に(再現できるように)記入してください。エラーメッセージやエラーコードが表示される場合には、表示されるメッセージ内容のプリントアウトなどを添付してください。

ネットワーク構成図について

ネットワークとの接続状況や、使用されているネットワーク機器がわかる簡単な図を添付してください。他社の製品をご使用の場合は、メーカー名、機種名、バージョンなどをご記入ください。



安全のために

必ずお守りください



警告

下記の注意事項を守らないと火災・感電により、死亡や大けがの原因となります。

分解や改造をしない

本製品は、取扱説明書に記載のない分解や改造はしないでください。火災や感電、けがの原因となります。



分解禁止

雷のときはケーブル類・機器類にさわらない

感電の原因となります。



雷のときはさわらない

異物は入れない 水は禁物

火災や感電の恐れがあります。水や異物を入れないように注意してください。万一水や異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。



異物厳禁

表示以外の電圧では使用しない

本製品に付属のACアダプターは100Vで動作します。



電圧注意

付属のACアダプター以外で使用しない

火災や感電の原因となります。必ず、付属のACアダプターを使用してください。



付属品を使え

コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない

たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。



たこ足禁止

通風口はふさがない
内部に熱がこもり、火災の原因となります。



ふさがない

湿気やほこりの多いところ
油煙や湯気のある場所
には置かない
火災や感電の原因となります。



設置場所注意

設置・移動のときは電源プラグを抜く
感電の原因となります。



プラグを抜け

ACアダプターのコードを傷つけない
火災や感電の原因となります。



傷つけない

ご使用にあたってのお願い

静電気注意

本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊する恐れがありますので、コネクタの接点部分、ポート、部品などに素手で触れないでください。



次のような場所での使用や保管はしないでください

- 直射日光の当たる場所
- 暖房器具の近くなどの高温になる場所
- 急激な温度変化のある場所(結露するような場所)
- 湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所(湿度80%以下の環境でご使用ください)

おことわり

本書は、アライドテレシス株式会社が作成したもので、全ての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。本装置の内容またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

Copyright © 1999 アライドテレシス株式会社

商標

CentreCOMは、アライドテレシス株式会社の登録商標です。

マニュアルバージョン

1999年12月 Rev.A 初版

取り扱いにはご注意ください。
落としたり、ぶついたり、強いショックを与えないでください。



お手入れについて

清掃するときは電源を切った状態で
誤動作の原因になります。



機器は、乾いた柔らかい布で拭く
汚れがひどい場合は、柔らかい布に薄めた台所用洗剤(中性)をぬらすな
中性洗剤 強く絞る
しみこませ、強く絞ったものでふき、乾いた柔らかい布で仕上げてください。



中性洗剤 使用

強く絞る

お手入れには次のものは使わないで
ください

- 石油・みがき粉・シンナー・ベンジン・ワックス・熱湯・粉せっけん(化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書に従ってください)



シンナー類 禁止